

Warranty 製品保証

ベルックスならではの。最長20年の長期保証。

世界の天窓トップブランドとしての品質と、日本での30年以上におよぶ実績の証しとして、業界最長の長期保証を実現しています。快適でサステナブルな暮らしを、高い品質と全国に広がるサービスネットワークで支えます。

20年保証 ガラスシール・ガラス内部結露

スカイビューシリーズのガラス面シーリングからの雨水浸入、およびガラス内部結露については20年保証。

※ルーフウィンドウシリーズ：
内部結露10年、ガラスシール10年保証
※フラットシリーズ：
内部結露20年、ガラスシール10年保証



20年保証
ガラスシール
内部結露

10年保証 天窓本体からの雨水浸入・水切り

窓枠およびサッシ間からの雨水浸入、および水切りについては10年保証。



10年保証
雨水浸入・水切り

3年保証 ブラインド・電装部品

ブラインド、手動操作キット、およびモーターなど電装部品については3年保証。



3年保証
ブラインド・電装部品

Test Results 検査/テスト性能

日本の基準は最高ランクをクリア。

国内の研究機関で実施されている水密性、気密性、および耐風圧性試験では、最高ランクの評価をいただきました。

水密性 最高等級 (最大瞬間風速34.6m/s、降水量240mm/hに相当)
雨をともなった風の時に、雨水の浸入をどれくらい風の風圧まで防げるかを示す性能。風圧の単位はPa(パスカル)。

等級		W-1	W-2	W-3	W-4	W-5
圧力差 (脈動圧中央値)	Pa	100	150	250	350	500

(JIS A 4706)

気密性 最高等級
サッシの隙間からどれくらいの空気がもれるかを表す性能。数字が大きいほど性能が高い。

等級	A-1	A-2	A-3	A-4
気密等級線	A-1 等級線	A-2 等級線	A-3 等級線	A-4 等級線

(JIS A 4706・4702)

耐風圧性 最高等級 (平均風速66.9m/sに相当)
サッシがどれくらいの風圧に耐えられるかを表す性能。風圧の単位はPa(パスカル)。

等級		S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6
最高圧力	Pa	800	1200	1600	2000	2400	2800

(JIS A 4706)

※住宅用サッシとしては、S-6が最高等級とされています。
※スカイビューシリーズおよびフラットシリーズの数値です。

断熱性 1~7地域に対応
熱が移動するのをどれくらい抑えられるかを表す性能。数値が小さいほど性能が高い。

等級		H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-6
熱貫流率	W/m ² ・K	4.65以下	4.07以下	3.49以下	2.91以下	2.33以下	1.90以下

(JIS A 4710)

Test Results 検査/テスト性能

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書 (附属書)

・ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率

シリーズ	商品コード、仕様 (上段)	開口部の熱貫流率 W/m ² ・K (上段)	日射熱取得率
	ガラス構成 (下段) 室内側 - 中空層 - 室外側	ガラス中央部の熱貫流率 W/m ² ・K (下段)	
スカイビュー	A21 FS 3028 : FIX窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様	2.21	0.29
	7DW - 8G1 - 3HV	1.7	
	A21 FS 3004 : FIX窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様	2.0	0.29
	2.52.5.2HS - 9G1 - 3HV	1.5	
	A21 VS 3028 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様	2.14	0.29
	7DW - 8G1 - 3HV	1.7	
A21 VS 3004 : 開閉窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様	1.69	0.29	
2.52.5HS - 9G1 - 3HV	1.5		
ルーフウインドウ	V22 GGL 3057 : 開閉窓 透明合わせ強化複層ガラス アルゴンガス仕様	1.75	0.29
	33.1V - 15G1 - 6HV	1.0	
	V22 GGL 3026 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様	1.68	0.29
	7DW - 14G1 - 4HV	1.0	
	V22 GGU 0026 : 開閉窓 網入り透明強化複層ガラス アルゴンガス仕様	1.76	0.29
	7DW - 14G1 - 4HV	1.0	
V22 GGU 0066 : 開閉窓 透明合わせ強化三層ガラス アルゴンガス仕様	1.43	0.39	
33.2V-12G1-3HSV-12G1-4H	0.5		
フラット	FCM 0035 : FIX窓 型板網入り強化複層ガラス アルゴンガス仕様	2.28	0.29
	7DWO - 8G1 - 3HV	1.7	

7DW : 磨き網入り6.8mm、3H : 強化ガラス3mm、8G1 : ガス (アルゴン) 層8mm、V : Low-Eコーティング

7DWO : 型板網入り6.8mm、2.52.5HS : 倍強度合わせガラス2.5+2.5mm (中間膜厚30ミル)、9G1 : ガス (アルゴン) 層9mm

33.1 : 合わせガラス3+3mm (中間膜厚15ミル)、15G1 : ガス (アルゴン) 層15mm、6H : 強化ガラス6mm、14G1 : ガス (アルゴン) 層14mm

33.2 : 合わせガラス3+3mm (中間膜厚30ミル)、12G1 : ガス (アルゴン) 層12mm、3HS : 倍強度ガラス3mm、4H : 強化ガラス4mm

■本附属書について

- ・本附属書は、自己適合宣言書と合わせてご使用ください。
- ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■開口部の熱貫流率について

- ・JIS A 4710に基づき、BLT WDR-02①の試験方法により測定された代表試験体の試験値です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。

※弊社トップライトは大部分がガラスで構成されている窓等の開口部で建具の仕様は木製建具 (GGUは樹脂製建具) になります。

※VSEはVSと同等。またVS 3035、2028 およびFS 3035、2028 は3028と同等とみなす。FCM 0004は0035と同等とみなす。

■日射取得率

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。

※これらのデータは各種板ガラスの光学的性能・熱的性能を示す一般的な値であり、各商品の性能を保証するものではありません。

自己適合宣言書文書番号 : VSR0004

JIS Q 170501に基づく自己適合宣言書 (附属書)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

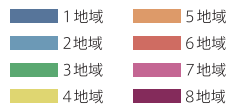
Building Code 関連法規

1. H28年省エネルギー基準

平成 28 年 (2016 年) に制定された「H28 年省エネルギー基準」は、室内環境の快適性を保ちながら使用するエネルギー量を抑えることを目的としており、【フラット 35】S 長期固定金利住宅ローンによる融資を受けるための適合審査の基準にもなります。天窗の場合、断熱性及び夏期日射侵入率が適用基準となっており、弊社製品では全タイプが H28 年省エネ基準 1~7 地域に適合します。

H28年省エネルギー基準関連性能

	熱貫流率 (W / m ² · K)	夏期日射侵入率	適合地域
VS 3004	1.69	0.29	1~7 地域
VS 3028	2.14	0.29	1~7 地域
VS 3035	2.14	0.29	1~7 地域
F S 3004	2.00	0.29	1~7 地域
F S 3028	2.21	0.29	1~7 地域
F S 3035	2.21	0.29	1~7 地域
FCM 0004	2.28	0.29	1~7 地域
FCM 0035	2.28	0.29	1~7 地域
GGL 3026	1.68	0.29	1~7 地域
GGL 3057	1.75	0.29	1~7 地域
GGU 0066	1.43	0.39	1~7 地域



「平成 28 年 省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説」による仕様規定に基づく場合、GGU 0066 は、建具：樹脂製建具、ガラス：三層複層中空層 7mm 以上で Low-E (2 枚以上) 日射取得型となり、熱貫流率：1.60W / m² K、日射熱取得率 (η)：0.39、GGL 及び GGU は、建具：樹脂製建具または木製建具、ガラス：二層複層中空層 12mm 以上で Low-E 日射遮蔽型となり、熱貫流率：1.90W / m² K、日射熱取得率 (η)：0.29、その他の製品は、建具：樹脂製建具または木製建具、ガラス：二層複層中空層 8mm 以上 12mm 未満で Low-E 日射遮蔽型となり、熱貫流率：2.33W / m² K、日射熱取得率 (η)：0.29 となります。(FCM は 2x6 枠使用の場合に限る)

2. 長期優良住宅

平成 21 年 (2009 年) 6 月に施行された「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」では、長期優良住宅の認定基準として、断熱性能などの省エネルギー性能が確保されていることが要求されます。天窗に関しては、H28 年省エネルギー基準 (上記 1) において、断熱等性能等級 (温熱環境) を満たす性能が求められます。ベルックス製天窗は、断熱性・日射侵入率・気密性において、全タイプが必要等級を満たしています。

3. 瑕疵担保責任保険

平成 21 年 (2009 年) 10 月に施行された「住宅瑕疵担保履行法」では、申請する住宅に天窗を取り付ける場合には、その設計・施工に関して以下の「設計施工基準」に準じるものとします。

- ・ 天窗の周囲は、各製造所が指定する施工方法に基づいて防水措置を施すこととする。
- ・ 天窗はその種類に応じて、使用可能な屋根勾配の範囲が定められているため、各製造所が定めた屋根勾配を遵守する。

4. 排煙について

GGU をベースとした GGH 排煙タイプを排煙上有効な開口部として計画する場合は、手動開閉タイプと電動開閉タイプの選択が可能です。市販の排煙用オペレータと組み合わせる場合は、通常の GGL 手動タイプ/GGU 手動タイプをご使用ください。
※排煙設備として認められない場合がありますので、必ず関係機関にご確認ください。

排煙対応天窗 GGH の特徴

電動タイプ：通常時はリモコンを利用し、電動で開閉。

非常時は手動開閉コードや非常用電源により手動、電動どちらの操作も可能。

手動タイプ：手動開閉専用、非常時はコードを引くことで瞬時に窓を開くことができます。

サイズ	障子巾	障子高さ	開口面積	開閉角度	有効開口面積
	C(mm)	D(mm)	S (m ²)	α (°)	So (m ²)

・ GGH 電動タイプまたは手動タイプをコード開閉で使用の時

CK02	466	675	0.31	45	0.31
MK04	696	875	0.60	45	0.60

・ GGH 電動タイプを電動開閉のみで使用の時

CK02	466	675	0.31	45	0.31
MK04	696	875	0.60	32	0.43

※VS(E)タイプは、排煙として認められない場合がありますので、関係機関にお問い合わせください。

有効開口面積 (So) の計算

計算式 1：90° ≧ α ≧ 45° のとき So = S
 計算式 2：45° > α ≧ 0° のとき So = α / 45° × S
 S：開口部面積 (S = C × D)、α：回転 (開閉)、So：有効開口面積

5. シックハウス対策について

平成 15 年 (2003 年) 7 月に実施された法改正により、居室における化学物質の発散に対する規制が設けられました。規制を受ける化学物質として、クロルピリホス及びホルムアルデヒドが該当します。クロルピリホスについては、ベルックスの全製品には、一切使用されておりません。ホルムアルデヒドについては、その放出量が F☆☆☆☆ と同等の材料を使用しておりますので、製品を設置するために使用する補強材や接着剤等及び回りの材料も放出量の低い材料を使用してください。なお、この規制は室内ドアなどの面材が対象であり、柱等の軸材、窓台、窓枠、建具枠等は評価の対象外となります。

6. 防火について

準防火地域におけるトップライトについて、木造 2 階建ての場合は、トップライト外装が不燃材 (アルミ + ガラス) であれば使用が認められ、多くの場合で網入りガラスが指導されます。トップライトは外壁開口部ではないので、⁹¹ 防火設備の必要はありません。木造 3 階建ての場合は準耐火建築となるため、各地の行政 / 申請機関の判断に従ってください。⁹² さらにご不明な点がある場合は、03-3478-8144 (設計のご相談) までご連絡ください。

※ 1 トップライトは屋根につく開口部と見なされます。外壁開口部ではありません。

※ 2 防火地域、及び新防火地域におけるトップライトの使用に関しては、同様に各地の行政 / 申請機関の判断に従ってください。

Building Code 関連法規

7. ガラスの限界積雪量

右下の地図は、青のエリアが積雪単位重量 $3\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$ の地域を、白のエリアが $2\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$ を示します。下表は、天窓タイプ、屋根勾配、サイズ、ガラス別の耐積雪量を示します。天窓設置の可否、タイプ、サイズ等を決める際の参考としてください。多雪区域では、建設地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工してください。安全のため、耐積雪量を超える前に雪おろしをしてください。なお、VS2028 と FS2028 は 3028 と同等です。

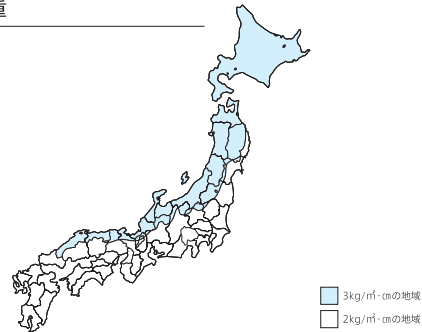
屋根勾配	ガラス	積雪単位重量 $3\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$			積雪単位重量 $2\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$		
		透明合わせ	網入り透明	型板網入り	透明合わせ	網入り透明	型板網入り
12.5 寸以上 (51'~)	C01	1141	777	577	1712	1166	866
	M25	986	670	496	1479	1005	744
	M02	659	444	327	989	666	491
	M04	453	302	221	680	453	332
	M08	295	194	139	443	291	209
	S06	224	144	102	336	216	153
8.5-12 寸 (41~50')	C01	570	388	288	855	582	432
	M25	493	335	248	740	503	372
	M02	329	222	163	494	333	245
	M04	226	151	110	339	227	165
	M08	147	97	69	221	146	104
	S06	112	72	51	168	108	77
6~8 寸 (31~40')	C01	380	259	192	570	389	288
	M25	328	223	165	492	335	248
	M02	219	148	109	329	222	164
	M04	151	100	73	227	150	110
	M08	98	64	46	147	96	69
	S06	74	48	34	111	72	51
0~5.5 寸 (0~30')	C01	285	194	144	428	291	216
	M25	246	167	124	369	251	186
	M02	164	111	81	246	167	122
	M04	113	75	55	170	113	83
	M08	73	48	34	110	72	51
	S06	56	36	25	84	54	38

屋根勾配	ガラス	積雪単位重量 $3\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$			積雪単位重量 $2\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$		
		透明合わせ	網入り透明	型板網入り	透明合わせ	網入り透明	型板網入り
12.5 寸以上 (51'~)	C01	803	544	402	1205	816	603
	M25	741	501	369	1112	752	554
	M02	574	386	283	861	579	425
	M04	380	252	183	570	378	275
	M08	256	167	119	384	251	179
	S25	579	389	286	869	584	429
8.5-12 寸 (41~50')	C01	401	272	201	602	408	302
	M25	370	250	184	555	375	276
	M02	287	193	141	431	290	212
	M04	190	126	91	285	189	137
	M08	128	83	59	192	125	89
	S25	289	194	143	434	291	215
6~8 寸 (31~40')	C01	267	181	134	401	272	201
	M25	247	167	123	371	251	185
	M02	191	128	94	287	192	141
	M04	126	84	61	189	126	92
	M08	85	55	39	128	83	59
	S25	193	129	95	290	194	143
0~5.5 寸 (0~30')	C01	200	136	100	300	204	150
	M25	185	125	92	278	188	138
	M02	143	96	70	215	144	105
	M04	95	63	45	143	95	68
	M08	64	41	29	96	62	44
	S25	144	97	71	216	146	107
S06	49	31	22	74	47	33	

屋根勾配	ガラス	積雪単位重量 $3\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$		積雪単位重量 $2\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$		
		0004	0035	0004	0035	
0~6 寸 (0~31')	M04	1430	231	116	346	174
	M08	2222	212	106	319	160
	M12	2234	111	54	167	81
	M16	2246	93	44	139	67
	M20	3046	58	26	87	40
	M24	3434	87	41	131	62
	M28	4646	45	20	68	30
	M32					

屋根勾配	ガラス	積雪単位重量 $3\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$		積雪単位重量 $2\text{kg/m}^2 \cdot \text{cm}$	
		3057	3026	3057	3026
12.5 寸以上 (51'~)	CK02	1619	823	2429	1235
	MK04	653	345	979	518
8.5~12 寸 (41~50')	CK02	809	411	1214	617
	MK04	326	172	489	258
6~8 寸 (31~40')	CK02	539	274	809	411
	MK04	217	115	326	173
0~5.5 寸 (0~30')	CK02	404	205	607	308
	MK04	163	86	244	129

積雪荷重



8. 板ガラスの熱割れ

窓ガラスに日光の直射を受けると、照射された部分は吸熱のため高温となり膨張します。一方周辺のサッシにのみ込まれた部分や、影の部分は余り温度上昇せず低温のままとなります。この低温部は、高温部の熱膨張を拘束し、結果としてガラス周辺部に引張応力が発生します。この熱応力は被照射部と周辺部との温度差、すなわち板ガラス内温度差に比例し、ガラスのエッジ強度をこえる引張応力が発生すると熱割れします。

網入りガラスはガラス内部の金属線とガラスとの熱膨張率が違うために、透明ガラスより許容熱応力が低くなりますが、防火規制や万一破損した場合の破片の飛散、脱落を減少させる安全面から、ベルクスルーファインドウのガラス仕様の一部として用意いたしております。防火上などの法的規制がない場合には、合わせガラスのご使用をおすすめします。

次のような使用状態の場合、ガラス温度が高くなり熱割れを起こす可能性が大きくなりますのでご注意ください。

- 1: 冷暖房から吹き出した空気が直接ガラスに当たると、ガラスのその部分の温度が高くなるので避けてください。
- 2: 強力なライト照射すると、ガラスのその部分の温度が高くなるので避けてください。
- 3: ガラス面に紙、フィルム等を貼ったり、ペンキを塗ると吸収率が極度に大きくなり、ガラスのその部分の温度が高くなるので避けてください。
- 4: 北海道では網入りガラスとハニカム・シェスタブラインド（遮光タイプ）の併用は熱割れを起こす可能性がありますので避けてください。

熱割れは保証対象外となります。

Precautions 注意事項、メンテナンス

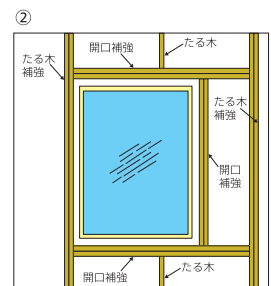
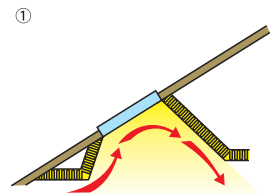
設計上の注意

勾配：天窓の設置が可能な屋根勾配は下表の通りです。この範囲/条件以外への施工は保証対象外となります。

屋根勾配	0°	5°	10°	15°	20°	25°	30°	35°	40°	45°	50°	55°	60°	65°	70°	75°	80°	85°	
FCM	0寸																		
VS	0寸		2寸	25寸															
FS	0寸			25寸															
GGL	0寸						58寸												
GGU、GGH	0寸				4寸														

- ：立ち上げ台を設け、フラットキットを使って納めること。
- ：緩勾配キット (VS11) 仕様で、鋼板で納めること。
- ：通常の施工マニュアルに準じて取付すること。
- ：設置不可。

- 落雪：危険ですから、屋根雪の落下が予想される所には取り付けないでください。
- 地域：販売地域は、沖縄を除く日本全国となります。
- 結露：結露を抑制するために、天井面の空気の循環を考慮した内装材の設計をおすすめします。(図①)
- 補強：開口部周辺はたる木で十分補強してください。(図②)
- 気圧：ルーフウインドウシリーズを海拔 850m 以上で使用の場合は、現地で複層ガラス内の気圧調整が必要です。スカイビューシリーズ・フラットシリーズは海拔にかかわらず不要です。
- 浴室：浴室等、高温多湿となる所での使用は GGU タイプのみが可能です。その場合、半年に一度程度のグリス補充が必要です。漏電の原因となるので、電動タイプの設置はしないでください。
- 煙突：煙突(シャフト)状の内装仕上げの上部に本体を設置する場合には結露防止のため、換気出来る VS シリーズをご使用ください。その際、勾配によっては網戸の脱着が困難な場合がありますので、ご注意ください。
- 空調：冷暖房の吹き出し空気が直接ガラスに当たると、ガラスに温度差が生じて、割れることがありますので 1m 以上離してください。
- 環境：ホルムアルデヒドについては、その放散量が F☆☆☆☆ と同等の材料を使用しておりますので、製品を設置するために使用する補強材や接着剤及び回りの材料も放散量の低い材料を使用してください。



施工上の注意

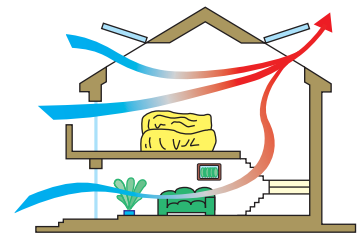
- 取扱：商品は足場の良い所に置き、倒したり、投げたりしないでください。
- 準備：屋根開口部には転落防止のための表示を行ってください。
天窓を屋根に運搬する作業は、2人以上またはクレーン車等で行ってください。
危険ですので、強風時、悪天候時の運搬、施工は行わないでください。
急勾配の屋根に施工する場合は、安全のために足場を設けてください。
ガラスの破損やひび割れを発見した場合は、放置せず速やかに当社までご連絡をください。
- 施工：施工は本体付属の説明書に従ってください。説明書と異なる場合は、保証の対象外となる事があります。
屋根への設置は、商品の上下を確認の上、正しく取り付けてください。W×H を逆にした取り付けは出来ません。
ガラス表面のコーティングを保護するため、室外側ガラスには、シリコンの付着やカッター等鋭利な工具の使用は避けてください。
※フラットシリーズ FCM のみ W×H を逆にして設置可能
- 警告：屋根面へ人が自由に出入りできる設置場所では、関係者以外が立ち入らないよう出入り口を施錠したり [出入り禁止] 等の表示を設け、天窓本体の上に登られないような安全対策を状況に応じてご検討ください。
- 多雪：多雪区域では、建築地の積雪状況、すが漏れ、落雪等を考慮の上、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工してください。同区域の VSE、VS、FS、GGL、GGU および GGH タイプの鋼板屋根には、天窓上部にジャンプ台を施工してください。(写真③)
取付勾配に関わらず、すが漏れは保証対象外となります。
- 内装：内装は、内装下地用の溝に納めてください。納める位置が溝より狭いと、メンテナンスに差し支えることがあります。
- 電気：電気配線工事は電気工事に依頼し、内装工事の前に打ち合わせを行ってください。



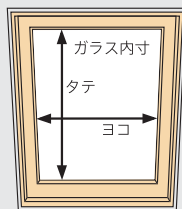
Precautions 注意事項、メンテナンス

使用上の注意

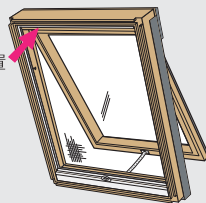
- 天候:** 雨の日、強風の日及び窓枠周辺に雪が積もっている時は、故障や雨漏れの原因となりますので、開けないでください。本体が凍結した場合には、解凍してから開閉操作を行ってください。
- 結露:** 一般的な家庭では、キッチンや浴室、居住者の発汗などによって1日に10%の水分が水蒸気として発生します。また、就寝時には0.5%の水分が汗や呼吸として発散されるため、寝室の室温が低い場合には結露が起こりやすい状態となります。結露を防ぐには、各部屋の温度差を抑えると共に、室内の換気を積極的に行うことが大切です。また、3寸以下の勾配では、ガラス面の結露水が落下する場合がありますので、十分な換気が必要です。結露は湿度が高く換気が必要であるというサインととらえ、定期的な換気を行きましょう。
- 電動:** 電動開閉時には体の一部や、物が挟まれないよう、窓の稼動範囲内に人がいないことを十分に確認してから行ってください。VS 電動タイプでは、降雨の際に、吹き込みセンサーが作動して窓が自動的に閉じます。動作中に体の一部や物が挟まれないよう十分ご注意ください。
- 手動:** 開閉用ロッドでの操作は床に立って行えるよう、適切な長さの操作棒をご注文ください。イス・脚立などを利用した操作は、大変危険ですのでおやめください。開閉ロッドでの操作（窓、ブラインド）は慎重に行い、ガラスを突かないよう十分ご注意ください。
- 用途:** 天窓から顔や手を出さないでください。窓枠に物を掛けたり、ぶらさがったりしないでください。
- 落下:** 落下や故障の原因になるので、天窓を出入り口として使用しないでください。落下の危険がありますから、天窓の上には乗らないでください。
- 割れ:** ガラス割れの原因となりますのでガラス面にフィルムやシール等を貼らないでください。
- 感電:** 感電の恐れがあるので、電動部は分解しないでください。
- 感度:** VS 電動タイプに標準装備の吹き込みセンサーは、不意に強い雨が降った場合に、閉め忘れた窓を開けて、室内への雨の吹き込みを軽減する機能を持ちます。（室内側に設置されたセンサーが、吹き込んだ雨を感知して自動的に天窓を開めます）。弱い雨の時は、開いた状態を維持して換気を続けます。このため、状況によっては雨が室内に入る可能性があります。お出かけの際は、必ず窓を開めてください。



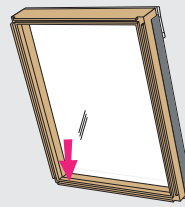
アフターメンテナンス等について



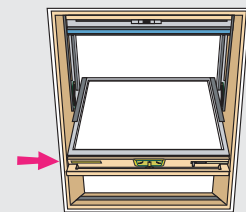
プレート位置



VSタイプ



FSタイプ



GGLタイプ

メンテナンスをご依頼になる場合には、天窓のサイズ確認のためにガラスの内寸（タテ×ヨコ）、または品番と製造番号をお知らせください。

製造プレート表示例

VS M04 3028HJ 34AR08A

FS M04 3035JH 77AT03A

GGL MK04 3026 48BD11V

清掃: 窓の汚れは乾拭きで落としてください。

維持: 天窓は建具の一種です。スムーズな開閉を維持するために、週1~2回は窓を開閉してください。

木枠を保護するために、2年に一度はクリア塗装をしてください。（VS、FS白枠はエナメル系ホホワイト塗料）

結露: 結露を避けるため、適度な換気をしてください。

部品: 天窓部品の供給可能期間は、生産中止後10年間です。

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、免責事項を除き無料修理をいたします。保証期間は、施工業者さまからのお引き渡し日から下記の期間となります。

※電池等の消耗品は含まれません。

※詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.velux.co.jp/warranty

製品保証期間

	内部結露	ガラス面シーリングからの雨水浸入	天窓本体（窓枠及びサッシ間からの雨水浸入含む）	ブラインド電装部品	水切り
スカイビューシリーズ	20年	20年	10年	3年	10年
フラットシリーズ	20年	10年	10年	—	10年
ルーフウインドウシリーズ	10年	10年	10年	3年	10年

Service アフターサービス

あなたの街にもベルックス。
天窓専門メーカーとして、全国へ広がるサービスネットワーク。

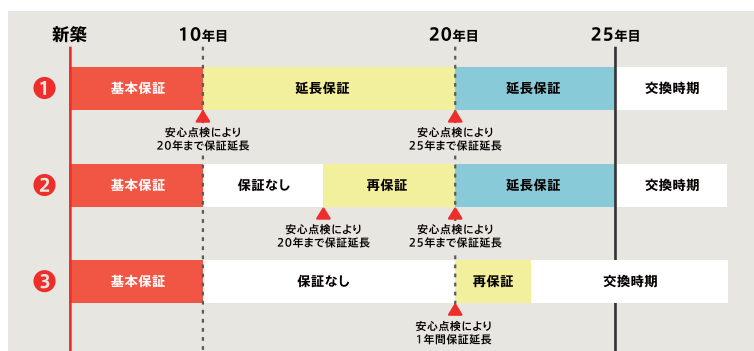
全国に向けたバックアップ体制

ベルックスは、購入後も永くお使いいただけるよう、きめ細かなアフターメンテナンス体制を整えています。日本全国に、施工指導をはじめとする技術サポートを提供する「ベルックス認定サービス協力店」を設置。さらに、天窓部品はパーツセンターにて集中管理することで、各地のメンテナンスのニーズに迅速に対応しています。天窓製品修理のほか、ブラインドなどオプション品の取り付け対応も行ってまいります。



さらに10年間、 保証が延びる「安心点検」のご案内

天窓の保証期限の10年目、20年目に有償で安心点検を実施しています。点検を行っていただくと、最大10年間保証を延長。より長く、安心してお使いいただくために、ベルックスの「安心点検」をぜひご利用ください。



※安心点検を2回実施すれば、25年までの延長保証をいたします。(18年目、19年目に初めて実施の場合、初回は2年間の延長となります。①、②)
※木枠の腐食が進行しているケースでは、保証延長ができません。(③)
※取付けから20年以上経過した天窓は、木部やシール(防水)材の劣化により漏水や腐食のおそれがあります。最終保証期間終了後は、屋根や壁のリフォームに合わせて天窓を交換することをお薦めします。交換後、新たにシール材の漏水保証をいたします。(VSとFSタイプは20年、GGLタイプは10年)

技術的なお問い合わせ・アフターサービスの連絡先

製品に関する技術的なご質問、修理、部品のご依頼、各種ブラインドの取り付け、ガラス交換、10年目点検、その他のアフターサービスに関するお問い合わせは、下記にて受け付けております。

受付窓口: 日本ベルックス(株) サービスサポート

インターネットからのお問い合わせ www.velux.co.jp/Support

FAX: 0570-00-8146 / 03-3478-6879

- ※保証期間経過後の修理や交換などは有料とさせていただきます。
- ※放水試験やこれに類する試験に起因する雨水の浸入については、保証対象外となります。
- ・当社の輸入している天窓は、日本の気象条件に適合するよう日本専用として製造されております。欧米仕様の製品を日本で使用されますと不都合が発生する場合があります。
- ・本カタログに記載されている性能値は実測及び計算値を一般的数値として示したもので保証値ではありませんのでご了承ください。
- ・商品の色調は印刷のため実物とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・品質向上のため予告なしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。